

いわき市立桶売小学校「学校だより」

vol.2

おけうり

令和4年11月9日(水) 第18号 (発行者: 校長・大木 淳)

<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)



<校章の由来>

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。

秋深し…暦の上ではすでに冬

山々は赤や黄色に彩られ、深まる秋を演出しておりますが、11月7日は二十四節気の「立冬」です。つまり、もう冬の足音が近づいてきますよ、ということですね。

2学期最大のイベント「明夢祭」を終えて、小学校は一段落です。といいますか、心の深いところまで、やり遂げた達成感や成就感に満たされていて、その余韻に浸っている状態かもしれません。

そんな中、児童のTさんは、次なる持久走記録会に向けて気持ちを切り替えて、少しずつ練習を始めています。まずは、ゆっくりのペースで校庭を走り、次は音楽に合わせて少し早いペースを維持して走っています。

教員チームもTさんとともに走っています。年齢やスポーツ経験・自分の体力を十分に考えながら、ペースを守ってがんばっております。



学校保健員会開催

11月4日(金) ～食の衛生管理・自分の命を守る～

今年の学校保健委員会は、2つのことについて学びました。

1つめは「給食の衛生管理」という表題で、本校の佐藤栄養教諭が手洗いの正しい方法について講話を行いました。

実際に普段通りの手洗いをすると、指先の爪との境目などに付着した汚れが付いたままになっていることがわかりました。調理員のEさんも参加していましたが、まったく汚れが残っていません。手洗い一つとっても、調理員さんは徹底した衛生管理をしていることがわかりました。



2つ目は小川川前地区保健福祉センターの先生をお迎えして、不安や悩みを抱え込んでしまい心を病んでいる人が増えていることから、ストレスの正しい理解と解消法について教えていただきました。

ストレスがかかることすべてが悪いことではなく、挑戦したり努力を重ねることで、できたことへの達成感や自信がつくなど、自分の成長のきっかけとなるものもある、とのこと。しかしながら、悩みや不安が長く続くと、こころやからだに変調をきたし、自傷行為や最悪の場合は自らの命を絶ってしまう行為に及んでしまうこともあるらしいです。いろいろな対処法はあるものの、やはり人に話すことが一番大切なことのようにです。講師の先生は、大人3人に話そう、とおっしゃっておいりました。



服部 樹理教育長 来校 11月8日(火)

(はっとり じゅり)

9月1日付で文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課より就任しました。

いわき市は面積が広く、小・中学校合わせると100校もあります。市街地中心部・海沿い・山間部と自然環境一つとっても様々な立地があります。また、人数が多い・少ない、小・中学校が一緒…と運営のしかたも様々です。教育長自身が足を運んで確かめたい、とのことでした。

予定より長い時間をかけて、児童や職員の様子を見聞きされました。



☆ 空間放射線値 0.088 マイクロシーベルト/時 (11月9日 午前9時15分)

学校点描

～学校生活フォトギャラリー～

赤い羽根共同募金（10月25日）



皆さんからいただいた義援金は、地区社会福祉協議会の方にお渡ししました。
金額は、4,128円でした。
ご協力いただきまして、ありがとうございました。

ブラインド・ブック（10月28日）



ゼロ・カーボンへの取組（11月1日）



節水・節電を行い、無駄な電力消費を抑えます

版画指導（11月2日）



今年も「いわき版画の会」の菅野先生にご指導をいただきます

朝食を見直そう週間（10月31日～11月4日）

望ましい食習慣の形成と栄養バランスの良い朝食の摂取をめざして取り組みました。

副菜・主菜・主食・汁物のバランスについても見直しをしました。



全校集会（11/8にちなんで「歯の健康」について）



歯磨きのしかたを確かめましょう

①軽い力で

②歯ブラシを使う部分を工夫して

③磨き残しがないように「つ」の字の順番で

